

S I A 認定アルペンスキー教師検定実施要綱

<資料>

S I A 認定スノースポーツ教師検定規程に基づき、検定を行うためにこの実施要綱を定める。

アルペンスキー・ステージⅠ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科目

科目はSIA オフィシャルメソッドからとする。ただし、事情により変更することができる。

- SIA とは ○SIA の理念 ○SIA 会員の心得 ○SIA の歴史 ○指導の基本
- リスクマネジメント ○学校団体の指導

2. 実 技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。また公認スキー学校長が修了証明書を協会へ提出することとする。

イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- プルークボーゲン ○シュテムターン ○ロングターン

ロ. 採点方法

公認スキー学校長または公認スキー学校長が委嘱した1名のステージⅣ（アルペンスキーイグザミネーター「以下APイグザミネーター」含む）活動会員によって採点する。

採点は100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科目

科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 初心者への指導

アルペンスキー・ステージⅡ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○教師の心得 ○技術指導法（技術検定を含む） ○作文

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはAPイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集 合 講 習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○プルークボーゲン ○シュテムターン ○ロングターン ○ショートターン

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

120点以上を合格点とする。

3. 指 導 実 習

(1) 集 合 講 習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○指導計画の作成 ○個人指導 ○対象に応じた指導 ○指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

120点以上を合格点とする。

アルペンスキー・ステージⅢ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集 合 講 習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
○雪山の安全対策論 ○技術指導論（技術検定含む）

○対象に応じた指導（障がい者スキー）

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはAPイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

(2) 通 信 講 習

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○外国語 ○力学 ○救急法 ○技術指導法

○雪山の安全対策論 ○対象に応じた指導（障がい者スキー）

ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはAPイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低3ヶ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集 合 講 習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○シュテムターン ○ロングターン ○ショートターン ○総合滑降

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

※ゲート滑降は体験のみとする。

ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

3. 指 導 実 習

(1) 集 合 講 習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○指導計画の作成 ○個人指導 ○集団指導 ○対象に応じた指導

○指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

アルペンスキー・ステージⅣ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○スノースポーツ産業の現況 ○施設経営論
- トレーニング論・基礎と専門 ○コンディショニング ○技術論
- 技術指導法 ○スキーの山岳と気象・雪崩

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはAPイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

(2) 通信講習

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○スノースポーツ産業の現況 ○施設経営論
- トレーニング論・基礎と専門 ○コンディショニング ○技術指導法
- スキーの山岳と気象・雪崩

ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはAPイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低3ヶ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- シュテムターン ○ロングターン ○ショートターン ○総合滑降 ○ゲート (GS)

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。ただし、ジャイアントスラロームは別に定める方法によって行う。

ハ. 合 否

160点以上を合格点とする。ジャイアントスラロームは前走者(SIAメダル検定のペースメーカー)のSLTの105%以内を男性の合格とし、女性は115%以内とする。ただし、50歳以上の者は110%以内を男性の合格とし、女性は120%以内とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○指導計画の作成 ○個人指導 ○集団指導 ○対象に応じた指導

○指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはAPイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

160点以上を合格点とする。